

山梨代協

フードバンク山梨へ寄付金贈呈

山梨代協(土屋契会長)は昨年12月16日、南アルプス市の認定NPO法人フードバンク山梨を訪れ、同法人の運営支援として寄付金10万7000円を贈呈した。これまで山梨代協では地域の子どもたちの冬休み支援策として、会員から集めた食品の

寄贈を行ってきたが、昨年度からは「現物だけでなく、運営に必要な資金面でも支えたい」との考えから、会員による募金活動やチャリティゴルフコンペを実施した。当日は、山梨代協の大久保勲CSR委員長がフードバンク山梨の米山けい子理事長に目録を贈呈。米山理事長からは「食品の寄付はもちろんありがたいが、どうしても種類や量に偏りが出るので、足りないものを購入

食品だけでなく支援 運営資金でも



大久保委員長(左)と米山理事長

入するための現金で支援は大変有効で助かる」と感謝の言葉が寄せられた。フードバンク山梨ではこの時期、年末に向けた食料の箱詰めや発送準備をしており、当日も約200個が発送され、最終的には県内およそ900世帯に食品が届く。発送されるセツトの中には、子どもたちが自分でデコレーションを楽しめるケーキセットなども含まれているとのこと。大久保CSR委員長は「単にお腹を満たすだけでなく、子どもたちに季節の楽しみや笑顔を届けたいという現場の熱意を感じた。今後も継続して支援していきたい」との考えを示した。

フードバンク山梨は、安全に食べられるのに箱

NTTデータ

が壊れたり印字が薄くなったりして販売できない食品を企業から寄贈してもらい、必要としている施設や団体への無償提供の取り組みをする認定NPO団体。食品企業には安全に食べられるのに味が